

転ばない家

私が大学生になった 45 年程前は、数えるほどの大学にしか工学部に情報工学科が無い次代でしたが、今では工学部以外にも、文学部図書館情報学・文学部コミュニケーション情報学科・社会情報学・医療情報学など、『情報』の二文字が無い学部はほぼ無くなったようです。

産官学の連携の目的は、技術開発・製品開発・人材開発をもって、できることを増やし、産業活動を通して地域に貢献することですが、産学連携を継続していると、あたらしい学問が生まれ、成長し、新たな産業を下支えていることに気づかされます。

今日はその一つ、『ジェロントロジー（加齢学）』を研究する、慶応大学理工学部の教授が座長を務める「住まいと住まい方のジェロントロジー研究会」が作成した、『家の中に潜む転倒リスクチェック』をご紹介します。

- ☐ 冬期、居間の平均温度が 18℃以下になる
- ☐ 電気コード類が床を這っている
- ☐ 部屋全体よりも一回りほど小さなサイズの絨毯や、部分敷マットやラグを使っている
- ☐ スリッパや脱げやすい室内履きを履いている
- ☐ 床にいろいろなものが置いてある
- ☐ 夜間の廊下に常夜灯がついていない
- ☐ 階段やトイレ浴室に手すりがない
- ☐ 椅子にのってよく高い棚の出し入れをする

の 8 項目です。

段差のない住宅にも、『家の中での過ごし方』に起因する転倒リスクが多く存在します。先々月、私の知るある方が、階段の 1 段目から落ちて、肩を骨折されました。

この国の為にお金を使い、身の回りの転倒リスクを徹底的に無くし、医療介護費用の抑制に努めましょう。

「新会員スピーチ」



姫路信用金庫龍野支店の青田賢治です。新会員スピーチということでお時間を頂きます。

まず、龍野ロータリークラブに入会させていただき早3か月がたちました。みなさまに温かく迎えていただき、又、優しく接していただいたことに大変感謝しております。

今までいろいろなところで自己紹介をさせて頂いてありますが30分の自己紹介スピーチは経験したことがなく、この自己紹介スピーチを考える間、自分の歴史を初めて深く振り返ることをしましたが、ご紹介できるようなエピソードもなく、ごくごく普通で流されるまま生きてきた平凡な人生でありました。

しかし、30分間は何か話をしないとイケませんので、皆様あまり興味がないかと思いますが生い立ちから話をさせて頂きまします。とりとめもない退屈な話になりますがお付き合いの程よろしく願いいたします。

私は昭和50年生まれの48歳です。身長は178センチ 体重は78キロ、血液型はA型 趣味は入会の自己紹介には薪ストーブ、薪割りで紹介させていただきましたが趣味は特になく、あえて言うなら薪ストーブ関連という程度です。

家族構成は妻、長女高校3年生、次女中学3年生、長男小学6年生の5人家族です。来年は2人受験、3人卒業、3人入学と青田家一大イベントの年となります。

まずは生まれですが、私は姫路の北東に位置する田舎で生まれました。父、母、兄の4人家族で、当時、父は高校の美術の先生で母は小学校の先生でした。父は1945年生まれで現在78歳です。私が小学生の高学年のバブル崩壊寸前に、親戚中の反対を押し切って退職し、日本画家として独立しました。現在も現役で絵を描いております。昨年、日展という展覧会の審査員を務めることができ、これでいつでも引退できると言っていますが、まだ仕事を続けています。日本画教室もしており、今でも元気に仕事をしておりますので、子供としてはありがたいです。もし姫路信用金庫の本店に行かれる機会がございましたら、本店営業部の2階ロビーに父の作品を飾らせて頂いておりますので、見て頂けたら幸いです。尚、22年ほど前にはこの龍野ロータリークラブで日本画について、卓話もさせて頂いております。母親は1948年生まれの76歳です。小学校の教員をしておりましたが、私が小さい時に退職し、その後は専業主婦として家にいます。兄は3歳年上で大学卒業後、釣り具メーカーに就職し数年後には中国工場へ転勤となり10年程務めました。その後、本社に呼び戻されることになりましたが中国の居心地がよかったのか会社を退職し、中国にのこりました。その後、中国で会社を起業し、一人でがんばっています。仕事の内容は釣りの仕掛けを作る会社です。日本の釣り具メーカーからの受注がメインであると聞いていますがよくわかりません。日本人スタッフがいないので仕事を任せにくくほとんど日本にはかえって来ません。両親は早く帰ってきてほしいのですが本人は全くその気がないようです。

このような家族の中で私は育っております。子供の頃は、兄にくっついて色々ないたずらをしてよく近所のおばちゃんに怒られていました。怒られるのは大体兄で、私は逃げ足が速かったようです。中学生時代は逃げるので培った脚力を行かし陸上部に入部しました。しかし顧問

もないような部活でしたので一生懸命部活をした記憶もなく、勉強もあまりしませんでした。特に苦勞することなく高校に入学、同じ中学出身の陸上部の先輩に誘われ、そのまま陸上部に入部しました。その当時は西播で割と強い学校でしたが、私が入学するタイミングで顧問が代りました。前任も後任も熱心な先生でしたが、厳しさが違いました。前任は大変厳しく、後任は大変優しい先生で、練習は先輩方が前任の顧問の練習を継承していたので最初は厳しかったですが、徐々にその厳しさがなくなり練習も年々緩くなり、私が3年生の時には弱小校になっていました。弱小チームではありますが部員同士の中は非常によく今でも年に1回、顧問の先生、1つ上の学年の先輩と忘年会をしています。ゴルフコンペも定期的に行っており今でも仲良くやっています。高校も部活、勉強共に頑張った記憶はありません。大学も特に目的もなく流されるように進学しました。目的もなく入学しましたので、勉強もせずアルバイトに明け暮れていました。昼間はハウスクリーニング、夜は焼鳥屋さんで働いていました。焼鳥屋さんは大学1年生で初めてのアルバイト先で卒業するまで勤めました。おかげで今では焼鳥屋さんならいつでも開業できるノウハウは持っています。ハウスクリーニングは焼鳥屋さんのお客さんであった社長から声をかけて頂いてここも卒業まで続けました。大吉は800円からスタートして最後は950円ぐらいの時給だったと思います。ハウスクリーニングは時給1,000円でした。勉強もせずアルバイトに明け暮れていたため4年生のころには実家暮らしという事もあり常時100万円ぐらいが口座にあってかなり自由に遊んでいました。海外旅行も2回行くことができました。一回目は、学生時代の思い出作りとして一人で海外へ1か月行くことにしました。行きと帰りの飛行機と到着日のホテルだけを予約して行きました。英語もしゃべれず、リスニングも弱い、ゼスチャーと片言の英語だけで1ヵ月なんとか無事にすごせました。行ってからは毎日、不安と寂しさで後悔の日々でしたが、せっかく来たのだからと色々な観光地をせっせと回りました。馬鹿なことをしましたが良い経験だったと思います。

自分自身、若いころは本当に何も考えておらず、ただのお調子者でした。姫信に入庫したのも友達が姫信を受けるから行こうと誘われて、受けたら採用されただけのものでした。このような適当で苦勞することなく社会人になった分、働き始めたからは大変な目にありました。

1店舗目は姫路の総社近くの東支店、2店舗目は龍野支店でした。毎日朝7時に出勤し掃除から始まり雑用をする、毎日遅くまでは働く。飲み会もたくさんあり、まだまだ学生気分のままだりていました。龍野支店の最後ぐらいに結婚しました。この時、まじめに仕事をしないとこのままでは落ちこぼれになると思い、仕事の取組み姿勢も変わり始めました。しかし、そのタイミングで3店舗目の尾上支店に転勤となりました。やる気にあふれ営業に注力しましたが、当時の支店長と全く合わず、私も悪いところがあつたと思いますが理不尽なことばかり言う支店長で徐々にやる気を失って行きました。しかしその後、支店長が1店舗目にかわいがってもらった先輩が変わったことがきっかけでふたたび一生懸命仕事をするようになりました。嫌な支店長の時に出来なかったことが次々と出来たこともあり、結果がでました。そのことで評価され、すぐに支店長代理に昇進、その支店長とは、そのまま一緒に高砂支店に転勤し、連続4年間コンビのように仕事をさせていただきました。その後、加古川支店に転勤、職員組合の副組合長もさせて頂きました。このあたりの時期が一番充実していたと思います。仕事を任せてもらえ働き甲斐のある環境で大変、苦勞をしましたが、自分が一番成長した時であったと思います。38歳で姫路の駅南支店の次長になりました。この駅南支店は龍野支店同様に主力店舗で初めての次長にはなかなか厳しい店でした。職員数も多く、若い経験の浅い職員も多

いことでトラブルも多く大変苦勞しました。色々なトラブルにも負けず、何とかやりきることができた結果、41歳で加西支店の支店長を務め、その後、青山支店、そして現在の龍野支店へ変わってまいりました。姫路信用金庫に勤め、大きく成長したと思います。今、話をしましたが、高校生の時の顧問、厳しい先生と優しい先生、3店舗目の自分と合わなかった支店長、その後の自分をかわいがってくれた支店長、色々な人との出会いの上に今の私が出来上がっている。色々な人との出会いは自分を成長させる糧であり、これからも出会いを大切にしていきたいと思います。普通では入会することの出来ないこの龍野ロータリークラブで皆様と出会えたことも、私にとって大きな財産となっていくと思っております。この出会いを大切に、皆様からご指導を頂きながら自分を磨いていけたらと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。